自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所として「笑顔とぬくもりのある穏やかな生活を支援します」の理念を各階に掲示している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会に加入しており回覧版の案内にて地域の行事情報を収集している。コロナ禍により直接的な交流は出来ていない	以前は地域のお祭り行事に参加していたがコロナ禍では地域の行事自体縮小や中止となっている。開催していても利用者をお守りするためには参加を見合わせた方がよいと思います		今後も運営推進会議や回覧版などで地域の情報を収集する
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により事業所での開催は出来ていないが電話にて現状を報告しアドバイスや情報交換している	特にご意見なし		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村からのアンケート参加・入退居の報告、運営推進会議の議事録を渡すなど行っている	特にご意見なし		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母体からの動画視聴研修の視聴・伝達研修にて自己覚知を促している。また全職員へ身体拘束の自主点検のアンケートを年2回実施。玄関は防犯のため時間を決めて施錠しているが中からは誰でも開けられる施錠方法		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母体からの動画視聴研修の視聴・伝達研修実施。月ひとり１枚以上の不適切ケアのヒヤリハットを提出し、自己覚知や回覧・カンファレンスで振り返りや気づきにつなげ防止につとめている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母体からの動画視聴研修の視聴・伝達研修実施			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約は介護の相談窓口課の職員と管理者やリーダーが契約書を読み合わす形で十分に時間をかけ説明して納得の上で入居となる			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日ごろから意見を言い易い関係作りを目指して、利用者の情報が常に共有されるようにしている。アンケートを実施したり、意見箱を設けて匿名の意見が言えるように配慮している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き、毎月の新聞を作成・配布することで事業所内での行事や日頃のようすを感じていただく
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に１回のカンファレンスで職員一人一人の意見を出し合ったり、議事録を作成して職員に回覧し意見を聞く機会つくりとしている。日頃より職員とのコミュニケーションの機会を作り気軽に意見を言えるように配慮している			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートを実施し職員個々の給与水準や労働時間に対する思い、やりがいの把握に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人としてキャリアパス制度を確立し各職員の実際と力量の把握、力量に応じた研修がありモチベーションにも繋がっている。法人外研修への参加についても機会がある。法人内の研修内容は全職員に回覧している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無資格の職員へアシスト制度を用いて指導している
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度はコロナ禍により実施できず。法人を通じた勉強会や法人外の研修参加にて同業者と交流を行いケアの質の向上に取り組んでいる			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策のため、炊事への参加は自粛中だが、食器洗い、掃除、洗濯、共用部分の飾り付けなどご本人が一方的に介護を受けるだけではなく、本人の有する力を探り、発揮できる機会つくりや暮らしを共にする関係を取り組んでいる			今後も炊事以外にご利用者が力を発揮できる機会を探る
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により外出自粛中だが馴染みの人と電話や手紙を通じて関係性を継続出来るようにしている。馴染みの人について話題にし、思い出が薄れないように努めている	特にご意見なし		コロナ禍により面会に制限があるため今後も電話時はご本人にも代わり関係性の保持につなげていく。スカイプ面会は需要が少ない
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスでアセスメントを行い、各職員が C-1-2 シートを作成することで本人の思いや隠された願いについて、考える機会を作り、情報共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中から気づいたことを職員間だけでなく、家族や他職種と共に共有し、意見交換した上で介護計画を作成している。	特にご意見なし	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態変化に伴い、早期に他職種へ介入を依頼しご家族にも報告している
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子や介護計画に基づいたケアの実践・結果・気づきなどを個別に記録に残し、職員間で共有やカンファでの話し合いによって介護計画の見直しやそれぞれの実践に役立てている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望に柔軟に対応するように心がけていて、訪問ﾏｯｻｰｼﾞの導入や出張散髪をとりいれている。	特にご意見なし		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、外出、散歩など行えていないが、玄関前での日光浴の時など、十分な距離をおいたうえで、近隣の住民とあいさつなどを交わしている。	特にご意見なし		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に2回の往診医の訪問があり、電話対応もしている。また本人やご家族の希望する病院に受診をする場合でも紹介状作成と適切に対応していただいている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院となったときは介護サマリーを作成し情報を共有している。入院中はこまめに病院相談員と連絡を取り、情報収集や早期退院につなげ、退院後に安心安全な生活が送れるように情報共有している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時に重度化・看取りの指針について説明を行い、利用者の状態が重度化・終末期に近づいてこられた時には改めて説明し、医師・看護師を交えて話し合いの場を設けている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の急変や事故発生時マニュアルがあり、全職員が普通救急救命講習を受講しており、1F玄関にはAEDを設置し発生時に備えている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	約2ヶ月に一度のペースで事業所内での避難訓練を実施して災害時に備えている。日中、夜間想定の訓練も実施している。	近くに旧安祥寺川がありハザードマップ上、水害の危険が予想されている地域となっているためいざという時に近隣の方々に避難をお手伝いしていただけるような関係つくりが必要と感じます	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議や回覧版などで消防訓練の案内を行い地域との協力体制作りを行っていく
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの尊厳に配慮した言葉がけや関わりができるように十分注意している。法人の研修やカンファレンス時に望ましい対応方法の意見交換やお互いに注意したりと常に気をつけている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さまのペースを一番に考え、日々の関わりの中で利用者さまの希望を聞き取りながらご本人本位の個別ケアを行っている。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	冷蔵庫の食材から皆で話し合い献立を決めている。感染予防対策により一緒に作ったり、面前調理は自粛中だが下膳・食器洗いなど片づけは共に行っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養のバランスや好き嫌いなどを考慮し、一人ひとりに応じた量や嚥下の悪い利用者さまは水分にトロミ、食事はブレンダー食など嚥下状態に合わせた形状で提供している			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時や毎食後に歯磨きの声かけや口腔ケアを行っている。また希望者には週1回歯科衛生士による口腔ケアもあり、磨き残しの指示があった方には仕上げを職員が実施している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録、職員の意見から排泄パターンや習慣を把握し、個トイレ回数を増やしたりと、自立につながるように支援を行っている。便秘に対しては、日頃より食物繊維やオリゴ糖など予防になる栄養素の摂取を心掛けている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間帯や曜日を決めずに希望に応じて気持ち良く入れるように、拒否のある利用者へは翌日やムリなく入浴できるような言葉かけを行っている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の過ごし方に対して気をつけたり、適宜な運動を取り入れたりしながら安眠できるような環境を提供している。また日中の休息についてはその時の体調に配慮して必要に応じて取り入れるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報をいつでも即確認できるようにファイリングを行い、各職員が目を通し、利用者の服薬内容の把握に努めている。服薬マニュアルの実践を徹底している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントを行い一人ひとりが役割を持って喜びや楽しみのある生活ができるように介護計画に提案しその利用者らしい生活ができるように支援を行っている。	特にご意見なし		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に応じ個別に外出していたがコロナ禍により実施できない。敷地内の駐車場や玄関前ベンチ、ベランダでの日光浴など法人の感染症マニュアルに添って可能な限りの範囲で外との関わりにつなげている	特にご意見なし		外出ができないことでご利用者がストレス感じていたり、日々の刺激が少ないため天候を考慮しながら玄関ポーチなどでの外気浴の機会を増やしていく
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	欲しいもの、必要なものはグループホームの小口現金より立て替え購入している。現在はコロナ禍のため職員が購入支援中			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や知人からの電話取り次ぎやご本人の希望でかけることもある。携帯電話を持っている利用者が自室で電話を受けられるように電話操作を支援している。 手紙の切手購入や投函も支援している			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月季節に応じて飾り作りを一緒に行ったり、週1回お花の配達があり、利用者が生け見えるところに飾るなど、季節感や温もりを感じられる心地よい空間つくりを心がけている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族から思いを聴き、その人にあった暮らしができるように心掛けている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族から聞いた情報などを職員間で共有し、個別ケアを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気づきを記録し情報の共有、随時、医療機関や専門員へ相談することで多方面からケア・支援を行っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態やなじみの生活を踏まえ、自分のペースや希望にあった暮らしができるように個別ケアを行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	使い慣れた家具や仏壇、食器類は入居時に持参依頼し、利用者さまが自身の家と思い安心して日々過ごせるよう配慮している。また家族との写真やご本人作成の手芸作品なども飾っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、外出は自粛中だが、本人の希望に応じて、日光浴、花壇、畑の世話、喫煙などを敷地内で行っている	特にご意見なし		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの「できること」「わかること」を職員は把握し、役割、楽しみを持って有する力を引き出せるよう、その人が輝ける瞬間を作るようにしている。			ご家族より、毎月の新聞でご利用者のようすや行事内容が分かりやすいとお言葉あり
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の「できること」「楽しめること」をアセスメントし、職員がお声かけし機会を作ることで参加してもらえるように支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室窓より通行人へ手を振ったり、日光浴時に地域の人々へあいさつしているがコロナ禍により交流は少ない	特にご意見なし		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は笑顔と親しみのある態度を意識し、利用者個々に応じた最善の支援方法を職員だけではなく、医療・専門職など多方面から支えることで利用者や家族が安心した日々を過ごせるように努めている	運営推進会議時の場所がリビングと隣接しており利用者や職員の声が聞こえ、温かい雰囲気や利用者が自由に穏やかに過ごされている様子が感じられる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	